

令和2年12月21日

全国重症心身障害児（者）を守る会  
各支部長 様  
各運動推進委員 様  
各ブロック事務局長 様

全国重症心身障害児（者）を守る会  
会 長 北浦 雅子

**「経腸栄養分野での既存広ロタイプ誤嚥接続防止コネクタの  
存続に関する要望書」の提出について（情報提供）**

平成30年3月16日に発出された厚生労働省通知により、令和3年11月末に経腸栄養分野の現行規格接続コネクタが出荷停止となります。新規規格コネクタはネジ式のため、不衛生になりやすいことや薬の微調節が難しいこと等から、当会では昨年12月24日付で「経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の取扱いについて」要望書を提出し、厚生労働省の担当者に説明しました（情報提供62）。

その後、日本重症心身障害学会が新規コネクタ導入による影響について検証を行い、その結果をもとに同学会および日本重症心身障害福祉協会と当会の三団体が12月21日に厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課を訪れ、厚生労働大臣および同省医薬・生活衛生局長宛に別紙の「経腸栄養分野での既存広ロタイプ誤接続防止コネクタの存続に関する要望書」を連名で提出しましたので情報提供いたします。

厚生労働省では、医薬安全対策課安全使用推進室の高橋室長をはじめ関係部署の6名の方々が1時間半にわたり熱心にお話を聴いてくださり、医療事故防止及び製品の安定供給の確保の課題を整理しつつ、学会等の意見も聞きながら、重症心身障害者の介護者の負担軽減の方策（例：変換コネクタの継続）が可能かどうか検討するということを、今後の対応の方向性としてお示しいただいております。

なお、この情報は当会のホームページに掲載しておりますことを申し添えます。

【添付資料】「経腸栄養分野での既存広ロタイプ誤接続防止コネクタの存続に関する要望書」